



国際ロータリー第2750地区東京日野ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

クラブテーマ: 夢と情熱そして奉仕によるこびを

第2237回 2012年2月29日(水) 12:30~13:30 高幡不動尊

例会プログラム



大雪でした

司会 西山尚之 例会進行委員

開会点鐘 藤林 良昭 会長

ロータリーソング

『奉仕の理想』
ソングリーダー
和田 達也 君



会長挨拶 藤林 会長

幹事報告 和田 幹事

委員会等報告

会員増強・親睦委員会	松田委員
出席委員会	仲谷委員
社会奉仕奉仕委員会	横倉委員
職業奉仕委員会	森岡委員長
ゴルフ会	野村幹事長

卓話 『史記』 松田会員

食事 肉の健雄



会長挨拶 藤林 良昭 会長

大雪のなか多数のご参加、ありがとうございます。先週の地区大会で、当クラブが呼ばれた際に大きい声で返事をしてくださり感謝しています。

先日の臨時理事会で、青少年育成団体への支援を絞り込むことを決定しました。支援を打ち切る予定の団体へ話をしにいく予定です。



幹事報告 和田 達也 幹事

- 3月のロータリーレートは1ドル78円です。
- 例会変更のお知らせ 東京稲城RCより
- 財政健全化委員会の提言を受け、臨時理事会にて審議の結果以下の通り決しました。
 - ①ブリティッシュヒルズ事業の中止
 - ②BHに代わる事業を30万円程度の予算で計画する
 - ③日野消防少年団・日野サッカー連盟少年部への協力金を中止し、10万円の節約をする
 - ④固定費の見直しをさらに継続し10万円の削減をする
 - ⑤100万ドルの食事等の実行により各委員会予算を見直して10万円の削減をする
 - ⑥増強活動を強化する
 - ⑦会費の値上げは見送る
- ロータリーチャリティークラシックカーラリー&ゴルフ大会の案内をお配りしました。
- 3月28日の夜桜例会の案内をメールボックスに入れてあります。今回はご家族・ご友人もご招待して盛大に行います。会費は2000円です。
- 東京武蔵国分寺RCより20周年記念式典の案内が届いておりますので回覧します。
- 日野市社会福祉協議会よりボランティアインフォメーションが届いておりますので回覧します。



『ロータリーの友』3月号 注目記事紹介

森岡 弘通 職業奉仕委員長

1 毎号のことながら、ロータリー・アット

・ワークの頁には、楽しい写真、心温まる記事が数多く掲載されています(縦組20～27頁)。まず写真編20頁、「栃木県で開催された”夢カップ”ドッジボール選手権大会」の写真。「どんな球がきても受けてやる」と覚悟をきめた



が、ちょっぴり不安が残る小学生たちの健気で真剣な表情。何度みてもあきることがありません。自然に顔がほころぶ見事なスナップショットです。23頁以下の文章編にも「ロータリアンっていい人達だな」と納得させられる記事が次々に登場します。私はとくに「**黄島在住者との集い**」と「**米山学友とラオスとの国際交流**」に心をうたれました。

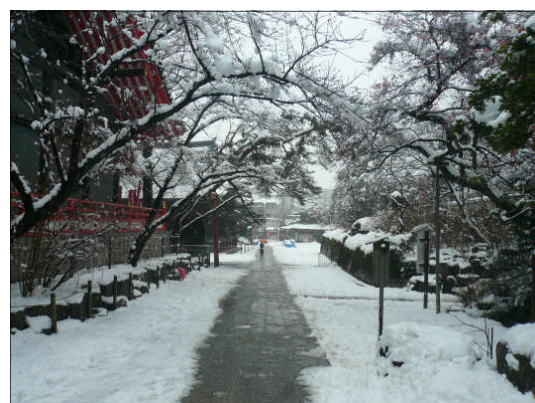
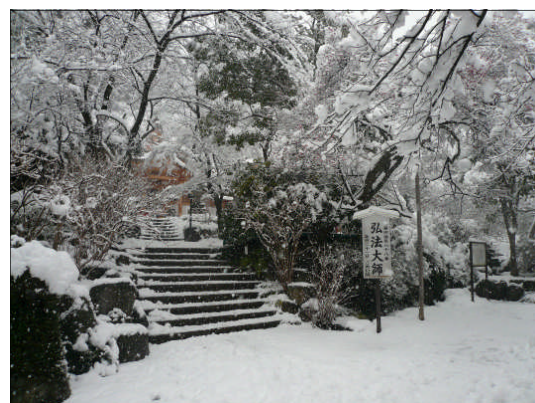
2 次は、これまで何回か話題になった「ロータリーの綱領(目的)」の和訳

についてです(横組50～53頁)。そこでは綱領(目的)の新バージョン(新しい日本語訳)が出来上がるまでの経緯がかなり詳しく述べられています。ここでは新バージョンについてのみ、二点感想を述べさせていただきます。新バージョンは現行の訳に比べて、簡素で分かりやすく、あきらかな誤訳(例えば第2の「道徳的水準を高めること」)もきちんと訂正されています。関係小委員会の御努力に心からの敬意を表します。ただせつかつかなり踏み込んだ調査・検討がなされたなら(イ)例えば第1の「**奉仕の機会を通して知り合いを広めること**」の後半部分も思い切って修正していただき**かったと考えます**。「知り合いを広める」という表現は日本語としておかしいと思います。もうひとつ(ロ)第4の文中の「**世界的親交によって**」(through a world fellowship)を「国際ロータリーの活動を通して」と意識した部分です。確かにそれは、きわめて正当な解釈にもとづく適切な訳文といえますが、しかしその一方で国際ロータリーの組織活動やプログラムが前面に出すぎて、本来の会員同士、クラブ同士の交流や活動が二次的な、影の薄いものになりはしないか、といささか心配です。この部分を例えば「**世界に広がる親交の輪を築くことで**」ときわめて広い意味に訳した方がロータリーの多様性、日常性に即しているようにも思えます(綱領の原文(英文)は、例会でも掲示されますが、ロータリー手帳の最初にも出ています)。

3 「同論・異論」ロータリーに広報は必要か否か(横組40～44頁)。重要なことはそこに記載されていますが、私なりの感想をひとつ。ロータリーの

主張や価値観は、昨今の先進国の経済活動のあり方や社会の趨勢と必ずしも共鳴・協調合っているわけではありません。ロータリーの広報活動(奉仕活動や奉仕プログラムの内容を含めて)は、社会に新鮮な驚きをもって迎えられたり、社会の広い層から積極的な支持をうけるとは限りません。もしロータリーが、そうした状況のなかにあっても、なおあえて社会に自らの存在理由を認めさせようとするのなら、上記(2)にあるような**ロータリーの考え方を分かりやすく、贅肉をそぎ落として提示する努力とか、あまりにも一般化した国際ロータリーのプログラムの再検討・再構築が必要不可欠**と思います。

フォト紹介



東京日野ロータリークラブ会報

会 長 藤林 良昭
幹 事 和田 達也
会報委員会 山口 徹雄(委員長)
小峯 敏夫 西山 尚之

事務局 〒191-0042 東京都日野市程久保3-37-3 日野ロータリークラブ会館
TEL 042-594-3711 FAX 042-593-0510
例 会 毎週水曜日(12:30より) 高幡不動尊客殿
U R L <http://www.hino-rotary.org> メール info@hino-rotary.org